

8月は会員増強・新クラブ結成推進月間です

RI 第2820地区

水海道ロータリークラブ



2024-25年度 ステファニー A. アーチック RI会長

例会予定 9月 4日 会員卓話 青島弘典会員 都合により例会場変更 報国寺開山堂
9月11日 休会

VOL.62 No. 6 (通算No. 2731)

2024年8月28日(水) 例会プログラム

点 鐘

ロータリーソング

ビジター紹介

出席報告

SAA報告

諸報告

幹事報告

会長挨拶

会員卓話 五木田裕一会員



写真提供者:青木正弘会員

2024-2025年度 会長 五木田裕一

幹事 大澤 清

創立 1963年9月25日

《例会場・例会日》

〒303-0034 茨城県常総市水海道天満町4684
常総市生涯学習センター2F 研修室

毎週 水曜日 12:30~13:30 ☎0297-22-1111

《事務所》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町3386
釜久ビル3階

TEL 0297-30-0875 Fax 0297-30-0876

Email mitsu-rc@lapis.plala.or.jp

URL <http://www.mitsukaido~rc.jp/>

8月は会員増強・新クラブ結成推進月間です

例会報告 VOL.62 No.5 (No.2730) 8月21日(水) 晴れ (司会 中山英俊委員長)

本例会での主な事項

◎会長あいさつ

◎研究会報告

奉仕プロジェクトリーグ・青少年奉仕委員会

幹事報告 大澤 清幹事

週報 なし

例会変更 なし

理事・役員会報告

1. 9月例会について

9月4日(水)、9月18日(水)、9月25日(水)……通常例会

9月11日(水)……休会(納涼会振替)

2. 谷和原サッカー大会協賛について……今年度は支援なし

3. この指とまれ事業……3事業に4万円の賛助

例会終了後、指名委員会が開かれます。関係者の方はお集まりください。

***9月4日(水)の例会場は報国寺開山堂になります。お間違えの無いようお願い致します。**

また例会終了後には、現況報告書製本作業のお手伝いをお願い申し上げます。それに伴い理事・役員会は例会前とさせていただきます。宜しくお願い申し上げます。

クラブ協議会

2023-2024年度 決算報告 松崎隆詞前年度会長

別紙のとおり

会計監査 染谷秀雄会員

2023-2024年度 会計監査報告

水海道ロータリークラブ

会長 松崎 隆詞 様

2023-2024年度、水海道ロータリークラブの収支決算について、関係諸帳

簿と証拠書類について監査した結果、すべて符号しており適正でありました事を報告

いたします。

令和6年8月10日

監査 染谷秀雄 

監査 熊谷昇 

……………拍手にて承認…………… ありがとうございました。

8月は会員増強・新クラブ結成推進月間です

会長挨拶 五木田裕一会長



皆様こんにちは。8月第3週例会の挨拶を申し上げます。お盆も終わり、8月も後半です。夏の疲れも出てくる頃かと思えます。また過日宮崎県で発生しました地震により被害に遭われた方々に、心よりお見舞い申し上げます。

さて私の業界の夏は研究会が続く時期です。毎年様々なテーマで発表が行われるのですが今年はDXがテーマでした。その中で先日発生しました南海トラフ地震に関する事項もありましたので、それにも触れたいと思い、今回の内容としました。

まず「DX とは何か」ですが、2004年にスウェーデン・ウメオ大学のエリック・ストルターマン教授により提唱された概念だそうです。進化し続けるテクノロジーが、人々の生活を豊かにしていくものであり、変革を伴い既存の価値観や枠組みを根底から覆すようなイノベーションをもたらすものとされているようです。デジタル化を進め、デジタルデータを活用し、変革を起こすことです。当然ながらその範疇にAIも含まれます。

研究会の冒頭、東北大学災害科学国際研究所副所長による基調講演がありました。この中で今年1月の能登半島地震津波被害の現地調査結果とAIによる被害予想との比較について研究発表がありましたが、結果はほぼAIによる予想と現実が一致したそうです。また様々な事例をAIに学習させることにより判断力を鍛え、より現実に即した対応が可能になるとの事でした。このAIによる災害予想サービスですが、高知県の海岸沿いに位置する自治体と協定を結んでいるそうです。まさに南海トラフ地震による甚大な津波被害が想定される地域です。

現在のプロセスでは、災害発生時において、被害発生直後にまず被害の程度を確認し、その上で人命救助等の災害対策が立てられ実行されます。しかしその自治体では、AIによる被害想定により被害の範囲や程度は高精度に予想されているため、被害確認を可能な限り省略できます。よって発生直後から時間を置かず、必要な救援物資等を現地に投入することが可能だそうです。一刻を争う場面では、非常に有効な手段だなと感じました。また津波でも水害でも同様だそうです。浸水が2mを超えると一般的な木造建築物はほぼ全壊するそうです。

DXにせよAIにせよ、今後の社会ではますます身近になると思えます。これら技術の活用により、より便利で明るい社会になるのでしょうか。それとも最終的に人間が機械に支配される社会になるのでしょうか。これらを使うのは我々生身の人間です。デジタル技術を有効に活用し、社会が豊かになる事が望まれます。

以上、挨拶を終わります。

地区研究会報告

奉仕プロジェクトリーグ研究会 松坂 武 国際奉仕委員長



国際奉仕委員会 委員長の松坂武です。

さる7月20日に土浦市にありますロープかすみがうらにて行われました2820地区の奉仕プロジェクトチーム研究会に職業奉仕委員会 秋田会員、社会奉仕委員会 宮本会員とともに参加してまいりました。

午前9時から午後5時までと長丁場の研究会となりました。

午前中は新役員の紹介、大高ガバナー挨拶等々あり、基調講演として土浦一高等学校長のプラニク・ヨグendra先生、通称ヨギ先生の講演を拝聴いたしました。

ヨギ先生は西インド・ムンバイ出身の47歳の先生です。ヨギ先生は珍しい経歴の持ち主でインド、中国、フランス、日本と4カ国で数学・物理・情報技術・経済学・経営学を学び、みずほ銀行にも勤めていました。2012年に帰化し、江戸川区議会議員に当選、都議会議員選挙に落選し、公募により現在の土浦一高の

8月は会員増強・新クラブ結成推進月間です

校長先生をされています。

講演は「日本の危機、どう乗り切るか？」という演目で、日本と世界の違い、日本とインドの違いを話されていました。特に印象に残った点として2つほどありました。

1つ目はインドの教育制度です。

インドの大学は専門性が非常に高いそうです。なので就職先もその専門性にマッチした企業に行くことになります。ちなみにNASAの研究者の36%、アメリカの医師の8%、シリコンバレーのCEOの7%以上はインド人だそうです。これは1962年にインドがIT教育にシフトし、良い労働者からイノベーターへ教育変換した結果といえます。

2つ目は日本の問題点を挙げていた点です。

日本は何か提案するとNOから始まるそうです。変化を嫌う傾向があるそうです。「形骸化」という言葉を使っていましたが、これにより主体性や日本固有の美德が失われる危険があると言っていました。しかし悪いことばかりではなく良い点もあり、特に日本の「一体性」は素晴らしいと話されていました。行きたい国No1だそうです。どこに行っても均一なサービスが受けられることは素晴らしいそうです。また昨今、日本は人手不足と言われていますが、実は人手は足りているそうです。不足しているのはスキル不足だそうです。

昼食休憩を挟んで午後からは初の試みであるグループラーニング。

社会奉仕、職業奉仕、国際奉仕にわかれ、1グループ6～7名のグループを作り、それぞれのテーマに沿った議論をし、意見の集約を行い、最後にその結果を発表するというものです。この議論・意見の集約に1時間30分、発表3分という長丁場であり、意見の集約が重要となります。議論では各クラブの委員会の現状、問題点、これからについて語られ、それについて助言や意見が出され、最終的にそれをまとめていく作業を行いました。議論に熱が入ることもあり1時間30分はあっという間に終了となりました。

その後、休憩を挟んで地区国際奉仕委員会によるこの指とまれプロジェクトの事業報告として、5つのクラブより発表がありました。また本年度の提唱クラブより事業発表があり、最後に大高ガバナーより研究会全体の総評があり研究会終了となりました。

この研究会を通して私が特に印象に残っている点は2点あります。

1つはヨギ先生の講演です。客観的な視点で日本を分析されていてインド出身でありながら現在の日本を憂いてるところが印象的でした。

もう1つはグループラーニングです。

少人数であるため杓子定規な話し合いではなく、各クラブの取り組みについて率直な議論ができたこと。特に苦勞している点を知ることができたことは大変有意義だったと思いました。今後の当クラブでの委員会に役立つこともあるのではと感じさせてくれました。

最後に、この研究会に参加させていただきありがとうございました。うたた寝もできない長時間の研究会となりましたが、実りある研究会だったと思います。

この経験を今後行かせるよう精進したいと思います。ご清聴ありがとうございました。

青少年奉仕研究会 古矢 満委員長



先月の7月28日(日)に、日立のホテルテラスザスクエアにて行われました、本年度の青少年奉仕研究会の報告をいたします。前日の夜に業界の集まりが日立であったため若干二日酔いで、当日は夏真っ盛りで猛暑ではありましたが、10時より夕方まで1日、ホテルに缶詰めのとても涼しい環境のもと参加してまいりました。

開会点鐘の後、各挨拶、高田総括委員長の前年度報告や今年度の活動について拝聴し、その後ローターアクトの活動報告を聞きました。現在2820地区では、県北地区、水戸、下館、つくば学園、土浦南、土浦、古河、笠間の8クラブで44名のメンバーだそうです。

8月は会員増強・新クラブ結成推進月間です

18歳から35歳までの若いメンバーで今後のロータリーメンバーへとつながっていくと思います。

そして昼食をはさみ、各委員会より報告・方針説明がありました。

まずインターアクトでは、地区内6つの高校による活動報告があり各高校での地域社会への支援プロジェクトや、ボランティア活動、年次大会などの報告を聞きました。そして各提唱クラブの水戸ロータリーをはじめ、日立港、水戸西、東海那珂、土浦南、しもだて紫水ロータリーの各担当者の話で、維持していくのは大変だけど、とてもやりがいがある活動だなと感じました。今後は機会があれば是非とも水海道クラブとしても、検討してみてもいいかと思っています。



そしてライラセミナーでは、今年度は高萩にて9月21日・22日の日程にてとり行われます。ロータリーに関連した30歳以下の方ならどなたでも参加できますので、ご参加希望・ご興味のある方がいらっしゃいましたら、私までご一報いただきたいと思ひます。ただし申し込み期限が、明後日の23日(金)までとなっておりますので、早急にご連絡いただければ幸いです。

また青少年交換事業では短期プログラムとして本年12月22日から29日までの1週間、タイでのホームステイです。そして長期プログラムとして、アメリカ、タイ、カナダへ各一名ずつ、来年2025年8月より2026年6月まで10か月間の派遣プログラムとなっております。こちらもご興味のある方は、ご一報いただければ詳細をお伝えしますので、宜しくお願い致します。

さてその後、3時より講演会、そして、最後に瀬戸ガバナーエレクトの総評と、とても大事な次第があったのですが、当日どうしても以前より予定が入っていた為、大変申し訳なかったのですが中座をしてしまいましたが、青少年奉仕活動について大変身のある勉強となりましたことを感想とし、報告とさせていただきます。ご拝聴ありがとうございました。

出席報告 染谷正美副委員長

会員総数	出席者数	欠席者数	出席免除	メーク	出席率
52名	36名	15名	1名	0名	70.59%

ニコニコボックス 山崎哲男委員長 入金額 37,000円 累計 463,000円

暑い中お疲れ様です。本日も宜しくお願い申し上げます。 五木田会員

先日3人目の孫ができました。 古矢会員

100%出席 染谷(秀)・大堀 各会員

暑さが続いております。お体御自愛ください。前年度会計報告宜しくお願いします。 松崎会員

酷暑続きの上、雷雨と天候不順がつづいております。皆さんくれぐれも健康には御留意下さい。

松坂(興)会員

残暑お見舞い申し上げます。 石塚(利)・大塚 各会員

お盆も終わりましたが、暑さは続きます。ご自愛ください。 白井会員

8月は会員増強・新クラブ結成推進月間です

ループタイを忘れました。暑いので皆様ご自愛ください。 石井会員

皆様暑い日が続きます。ご自愛ください。 熊谷会員

連日猛暑が続きますが先日、北海道の根室漁港に秋刀魚の初水揚げがあったそうです。大好物の塩焼きでビールを飲みましょう。 青木(正)会員

先日の台風7号ではおかげさまで被害も出ませんでした。早く秋になって欲しいです。 能勢会員

出張が続き久しぶりの例会出席です。 渡邊(潤)会員

猛暑ももう少しで終わります。皆様体調に気をつけて。 斎藤(広)会員

本日も宜しく願います。 宮本会員

早退します。 鈴木(茂)会員

例会欠席しました。 染谷(正)会員

長く休みました。すみません。 染谷(秀)会員

会報委員会 松坂興一委員長 宮代 尚副委員長 廣井 信委員 青島弘典委員



写真提供者:青木正弘会員